

H325

M 74

ゆ：媚毒

# エロトラップ ダンジョン

—女勇者はくじけない—

触  
勇者  
触手

ぱっと大口をひら  
は動くことが出来な  
トリスに狙いを定

**18**  
ADULT ONLY





—ここは地の底…？

それとも  
魔物の世界か…!?

初めて出遭う  
魔物——

聞いたことも  
ない呪文…

ビギンマ

キョウウシ



使命のために

魔王を倒す

進むれども

勇者は魔物の群をやっつけた！

地下1階

勇者/HP600

：何だろう  
今のおかしな  
痺れは：

まともに喰らったら  
危なかったかな



こんにちは、灯ひでかずです。  
今回のETDには、戦うヒロインとしては(個人的に)ロマンの塊りである  
Ⅲ勇者(♀)を放り込みます！  
頑張れ女勇者！  
くじけるな女勇者！  
くじけても負けるな  
女勇者！！！！

女殺しの仕掛けに溢れた  
エロラップダンジョン…  
はたして女勇者は  
この窮地を切り抜ける  
ことができるのか…？

## ダンジョン・ルール

- ・絶頂に達する毎にダメージを受け HPが減少する
- ・ここでのHPは性的耐久値であり 生命力ではない  
ゼロになっても死ぬ事はないが 意識を保てなくなる
- ・「媚毒」「淫紋」の状態異常は絶頂ダメージが2倍  
超感度は3倍になってしまう
- ・弱点であるクリトリスへの攻撃は2倍ダメージ
- ・弱点や状態異常は深度が進む毎に効果が重複する  
(弱点x2(4倍)→弱点x3(6倍)…のように増える)



ええ確かに

あの森の奥には  
宝玉が眠ると  
言い伝えられた  
古い祠が  
ありますが…

やめて  
おきなさい  
旅の方

かつては  
多くの冒険者が  
宝玉を得ようと  
祠に赴いたが

誰一人として  
戻らぬまま…

——これが  
帰らずの祠か

世界を脅かす  
魔王を討つ為の  
旅の途中

今や近寄る者も  
おりませぬ——

そんな情報を  
耳にした

魔王の城は  
険しい岩山に  
閉ざされ

中には旅の扉が  
ひとつだけ…

その先に  
宝玉が…?

人の足では  
とても辿り  
着けない…

……



地上1階

強制転移の罠だ！

突如放たれた怪しい光が二人を包み込む……！

？！

これは……普通の旅の扉ではありません

何か……妙なんです

そこから漂う気配……

賢者？

……確かにこの奥からは何か嫌な予感を覚える

だからといって逃げるわけにはいかないさ

不死鳥を蘇らせるオーブがここにあるかも知れないんだ！

勿論ですが念の為にインパスを……

勇者たちは地の底深くへと引きずり込まれてしまった——

……！

！！





気付いた時には  
この迷宮の中だった

僕はあの時  
突然に包まれて  
光に

コッ

コッ  
コッ



—そう

コッ



出口は見当たらず  
怪物に囲まれて！

一緒にいたはずの  
賢者の姿はなかった

僕とは別の場所へ  
飛ばされて！  
同じ目に遭っている  
のだろうか？



…何かが……



この魔物は

ひん…ひん…



彼女の実力なら  
心配はいらない

…と思うけど…



地下2階

勇者/HP600

待ち伏せか  
…くうっ!

!!

突然 背後より  
何本もの触手が襲い  
掛かる!

触手の門番だ!  
勇者は不意を突かれ  
絡め取られてしまった!

しまった!?

え!?

妙な動きで…

んく…!?  
こ…いつ…う

い…けない…う  
絞め殺される  
前に…脱出を…



触手のこうげき！  
勇者の股間にしゃぶり付き  
執拗に舐り回す！！

く…喰らい  
付かれた…ッ？

口は…  
は…

あ…

っ…うあ！  
…ああッ！！

な…にをッ…！

勇者は混乱している！

この感触は…  
…何だ…！？

あ…ッ

牙じゃ…

…つく…  
ああ…ッ

ない…！？

何をされてるっ！？





クリトリス  
勇者の急所を触手が直撃！

初めての絶頂へと  
押し上げられる！！

自身に湧き起こる感覚を  
理解出来ぬまま 勇者は  
5回もイカされてしまう！

弱点補正  
絶頂ダメージ  $5 \times 2 = 10!$

駄これだっ  
目だっ

よく分から  
ないけどっ！  
このままじゃー

っ……ベギリマあ！！

アァァァ…





「やっぱり  
この魔物は  
どこか得体が  
知れない！」

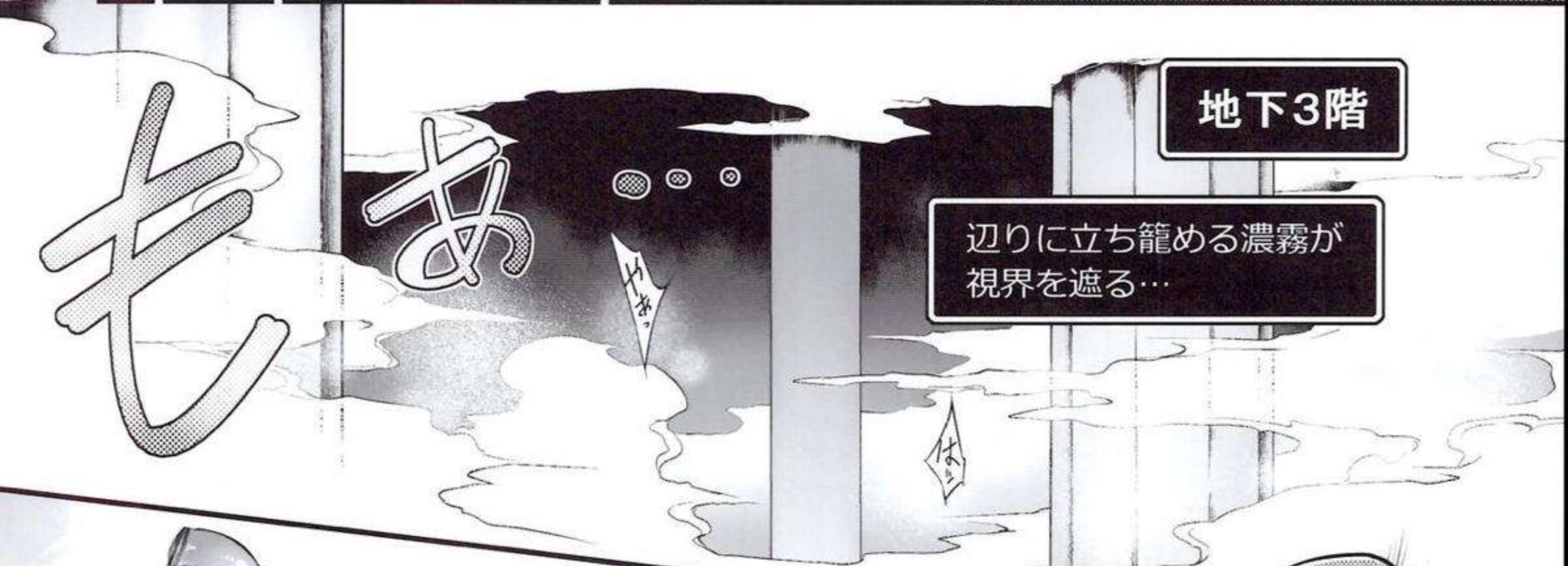
出来るだけ  
早く賢者と  
合流しなくちゃ…



はあっ…  
はあっ…

ふじっ…  
ふじっ…

勇者/HP600→勇者/HP590



地下3階

辺りに立ち籠める濃霧が  
視界を遮る…



倒しても倒しても  
湧いて出てくる

…くそっ  
キリが無いな



たあっ!!!





それに  
足元すらかすむ  
この濃霧も厄介だ…

さっきの…

おかしな  
ダメージも  
まだ残ってるの  
「…?」

**勇者/HP590**  
突如 勇者の膝から力が抜け  
全身が熱く昂ぶりだす…

**周囲に充満する濃霧は  
媚毒の霧だった!**

…え?

?!  
か…  
身体が…!?

何だ…?  
…本当に  
目が霞んで…

ま…さか…ッ  
この霧は—

毒の—

…あ…  
…く…ふ…っ♡

**勇者は  
状態異常:媚毒  
になった!**

っ!!



ま…まずいッ  
そんなモノを  
直接

コイツが  
この毒霧を  
……ッ

媚どくイモムシが現れ  
いきなり襲い掛かってきた！

**勇者/HP590/媚毒**  
顔面を被われ 大量の毒霧をじかに  
吸い込まされてしまった勇者！  
凶悪な媚毒成分が勇者の体内に染み渡り  
呼吸をするだけで達してしまう！





媚どくイモムシの  
追い討ち！



これまで受けた  
どんな猛毒  
よりも…



かッ…身体が  
焼けそうだッ

また

また

危険過ぎる…ッ  
こんな毒…!!

勇者は イキもがいている！



脱出しようと必死に抵抗しながら  
9回もイカされてしまった…



絶頂ダメージ9×2=18！  
媚毒補正



…賢者の  
キアリーが  
恋しいな…

彼女は…無事  
だろうか…



勇者/HP590/媚毒  
↓  
勇者/HP572/媚毒



地下4階

この迷宮内を  
賢者も進んでるん  
だとしたら…

もしかすると

ヨロ…

壁が!?

勇者/HP572/媚毒  
床のスイッチを踏んだ途端  
両壁から現れた魔眼が  
呪文の輝きを放つ!

こ…の  
呪文…は

最初の階で  
躲した…

無…理だ…  
今の脚…じゃ

どきん



避けられ……な——

夥しい数の絶頂呪文が降り注ぎ  
勇者の性感を蹂躪していく！

魔眼壁のMPが切れるまでに  
32回もイッてしまった……

絶頂ダメージ $32 \times 2 = 64$ ！

勇者/HP572/媚毒→勇者/HP508/媚毒



地下5階

負けてたまるかッ

勇者の使命は…!!

魔王…を…

く…ふッ…  
こ…この…

離…れる  
…お…っ

おる…

スライム…  
なんか…に…ッ

こんな…

こんな所で  
立ち止まる…  
なんて…ッ  
許されない…ッ

そ…こ…ッ!?  
何で…何で  
こん…なあっ♡

勇者/HP508/媚毒

媚毒補正&弱点補正  
絶頂ダメージ48!

さらに勇者の媚毒Lvが  
上がってしまった…  
↓  
勇者/HP460/媚毒x2

スライム回廊だ!  
媚ブルスライムに身体の隅々…  
クリ包皮の内側まで舐られてしまい  
抜け出すまでに12回イカされた!



絶頂ダメージ56!

地下6階

勇者/HP460/媚毒x2  
飛び回る振動球のむれだ!

攻：撃で…ッ

ム…んな…

触れた部分に湧き起こる  
振動快感はすさまじく  
一瞬の不意打ちだけで  
7回もイッてしまう…

地下7階

勇者/HP404/媚毒x2

重圧の震でバランスを崩した床には  
回転する粒状輪が待ち構えていた!

負け…ない…

負…たく  
…な…いッ

徹底的に秘芯を磨き上げられてしまい  
10回の絶頂を迎えてしまう!

さらに勇者の弱点Lvが上がってしまった…  
→ HP324/媚毒x2/弱点x2

絶頂ダメージ80!



地下8階

勇者/HP324/媚毒x2/弱点x2  
ホイミスライムとしびれくらげの  
亜種に取り囲まれてしまった！

負けたく  
ない…のに…

や…めろ…っ!?

そのツ…  
ヘンな呪文は！  
…もう…

ビホイミ

マヒさせられた身体は思うように動かない！  
勇者は 満足な抵抗も出来ぬまま  
無数の触手でなぶり倒されてしまう…



地下9階

「…  
い…  
う…  
こと…  
を…」

絶頂ダメージ304！！

勇者/HP324/媚毒x2/弱点x2

↓  
勇者/HP20/媚毒x2/弱点x2

勇者/HP20/媚毒x2/弱点x2

朦朧とする意識の中  
勇者は 触手の蠢く落とし穴に  
嵌り込んでしまった！

触手愛撫と官能回復呪文の  
容赦のない連続攻撃によって  
19回もイカされてしまった！

「…  
か…  
身体…  
が…」



何度も…頭が

白…光って

ここまでの快楽で 抗う力を  
根こそぎ奪われた勇者の身体を  
床下の触手たちは代わる代わるに  
穿り！ 擦り！ 追い詰めてゆく！

ついには完全に呑み込まれ  
全方位からの触手愛撫によって  
37回もの絶頂に登り詰めてしまう…

い…いき  
が…

息…が…  
でき…な…

絶頂ダメージ592!!

勇者/HP20/媚毒x2/弱点x2  
↓  
勇者/HP0/媚毒x2/弱点x2



勇者は力尽きた…

ここまで…  
なのか…

賢者

…あ…

僕は

意識を失った勇者を  
触手が さらなる地の底へと  
引きずり込む…

…



あ...

ん...う...

ん...

ん...

ん...ん...

ん...ん...

まだ...  
生きて...

か...

ん...ん...

ん...ん...

ん...ん...

ん...ん...

ん...ん...

!?

地下10階

賢者!?





ゆ…しゃ…  
…さま…

そんな

この迷宮は…  
淫魔の罠…

です…

すみませ…

賢者でも…

ほ…祠での…  
あの…気配…

あの異様な  
攻撃を受けた  
は抗えないのか!?

私…もっと  
早く気付いて  
いれば…あ…

フフ…放すわけ  
ないでしょう?

久々にイキの良い  
獲物が掛かって  
くれたんだもの

つ…怪物め!  
賢者を放せ!!

魔族!!



こいつが  
淫魔！

初めから  
畏：だった

ならここに  
オーブは：

オーブ？

：ああ  
宝玉のこと？

大昔に私が  
そっちへ流した  
ウワサよ

腕自慢の  
冒険者を誘き  
寄せる為の  
：ね♪

強いニンゲンが  
快樂に喘ぐ様：  
その精気こそが  
私の糧

この迷宮全てが  
私の胃袋つてワケ

あの入り口は  
百年くらい前に  
設置してもう寿命  
だったのだけど：

最期にこんな上物を  
運んでくれるなんて

なんでも  
地上では勇者と  
呼ばれてる  
そうじゃない

女の子なのに  
勇ましいのね



そんな…事は  
ど…でもいい…ッ

賢…者を…

放…せ…ッ！

へえ…♪  
すっかり  
蕩けてると  
思ったのに

仲間の前だと  
まだそんな眼が  
出来るんだ？

さすが  
勇者サマね

ビホマズン

良いわ

その意気に免じて  
チャンスをあげる

極大官能回復呪文だ！  
勇者たちの体力が回復していく…が  
それによって滾る生命力が  
そのまま快感へと変換されてしまう！

勇者たちの感度が大きく上がった！

→ 勇者/HP600/媚毒x2/弱点x2/超感度



絶頂ダメー

どこまでも  
イキ続ける  
アクメレースよ

絶頂ダメージ！

絶頂ダメージ！

絶頂ダメージ！

その結果――

「限界を  
迎えた方」を  
地上へ  
返してあげる

な…ッ!?

フフ：相手より  
先に根を上げれば  
助けてあげると  
言ってるの

やさしいでしょう？

そん…な…

そんな  
こと…っ…

仲間の生還を賭けた絶頂耐久勝負だ！  
果てしない**快樂**に心が折れることは  
すなわち **相手を見捨てる事**となる!!



ほ…んと…  
…だ…な…ッ!?

分かってるなら  
頑張って♪

なら…僕が…  
耐え抜けば…  
賢者を—

言ったでしょ?  
私は強いコが好きなの  
…身体も心もね

触手の先端が  
子宮を容赦なく突き上げる！  
背筋を突き抜けるような快感に  
官能呪文と合わせて41回も  
イカされてしまった！

い…けない…  
勇者…様は…  
き…こ…と…

耐えてしま…う…う

私…を…助…け…る…  
た…め…に…

41×4(増毒)×3(超感度)  
**絶頂ダメージ492!!**  
勇者/HP600  
↓  
勇者/HP108

体力の  
心配は  
要らないわ

けれど—

何度でも  
私を回復して  
アゲるから♡



無理...です...  
私...には...

勇...者様  
守...る...使...命...  
...な...の...に...

こ...んな...ッ...  
こ...んな...ツ...  
こ...んな...快...楽...ッ...

39x4 (媚毒)x2 (淫紋)x2 (弱点)x3 (超感度)  
絶頂ダメージ1872!!

折...れる...  
ち...や...う...

賢者/HP400/媚毒x2/淫紋/超感度

淫魔の触手椅子は形状を度々変化させ  
賢者の身体を容赦なく開発していく！  
膣奥を抉られながらの徹底的な突起責めに  
なす術なく 39回もの絶頂を味わわされた！

賢者/HP400→HP...



淫魔はふたたび  
ビホマズンをと  
なえた！

勇…者…さ…

素敵よ…♡

耐え…るんだ…  
今度こそ…

独りなら落ちていた  
は…の快感…  
それを仲間のため  
必死に耐えて…

勇者と賢者のHPが回復  
感度がさらに上昇した！  
超感度→超感度x2

だ…け…ど

今…度…  
こそ…おっ!!?

勇者/HP600/媚毒x2/弱点x2/超感度x2

絶頂感にわななく勇者の雌芯…  
そこへ追い討ちをかけるかの様に  
クリ責め触手がしゃぶり付く！

貴女のいちばあん  
弱いトコロ…  
いじめられても  
我慢できるかしら？

…は…  
…



たいまい鳴声…  
たまらないわ♥

知らなかった  
のよねえ？

迷宮に来るまで  
自分にこんな  
弱点があるだなんて

感じ過ぎて  
おかしくな  
なっちゃうでしょ

根元まで剥き出された秘芯を 無数の  
細かい粒壁が揉みくちやに咀嚼し  
より脆弱な官能器官へと舐けていく…

弱点x2  
↓  
弱点x3



こん…なに

助参りしたいのよ

どこまでも快感を増し続ける淫豆に 恐怖すら覚えながら 82回もイカされてしまう！

気かんをなに

振り絞って…

82x4x6x9=… 絶頂ダメージ17712！！

→勇者/HP0 /媚毒x2/弱点x3/超感度x2

でないともつともつと 気持ち良くされて しまうもの…

何で

ほおら♡

淫魔は さらに ビホマズンをとれた！

→勇者/HP600 /媚毒x2/弱点x3/超感度x3



何で…ツツ  
耐えられない  
んだ…ツツ

僕のツツ…身体

反り立った乳首を  
弾力のあるイボが  
包み込むように  
撫で上げる！

抉じ開けられた子宮の  
中を 滑らかな触手舌が  
暴れだした！

皆のために…  
戦ってきた…

そよ風に吹かれただけで達する程  
鋭敏になったクリトリス…

ずっと…  
鍛えてきた  
のに…

それを触手が両側から押し挟み  
粒々の口が擦るように揉み回す！

こん…な…

ズツツ…



弱いん…  
だよ…お…

勇者/HP 1 /媚毒x2/弱点x3/超感度x3

勇者の意志を嘲笑うかのような触手たちの徹底的な全身愛撫！ 一瞬の我慢すら許されず134回もの絶頂快樂を叩き込まれてしまった！

134x4x6x9=…

絶頂ダメージ28944 !!

淫魔はビホマスンをとなえた！

だ…め…

子宮を揺さぶられすさまじく快感が勇者の脳王まで…

絶頂ダメージ16524 !

がクリトリスへしゃぶり付き  
股が押しつけな極楽絶頂を91回も迎えてしまう！

絶頂ダメージ32760 !!

はビホマスンをとなえた！

…もじ…





も...う...

何...

か...

が...

壊...

れ...

た...

だめです...

も...う

何...

何...か...が...壊...れ...た...



こ……いじよ……  
耐え……れ……な……

…なさ…  
勇……ま…

…め…な  
…さ…

い……んだ…  
…賢者…

ぼ……は

よか……った…

決まりね…  
約束通り…  
彼女は帰り…  
あげるわ…

これで…  
賢者…は…

…めんなさい  
…勇者様…

フフ…  
お望み通りの  
結果になつて  
良かったわね  
勇者さま

…





勇者の…  
使命…を…

忘れな…で…

!?

だッ…

駄目だ!

賢—

貴女を

ここで  
終わらせるわけ  
にはいかない

千ッ!

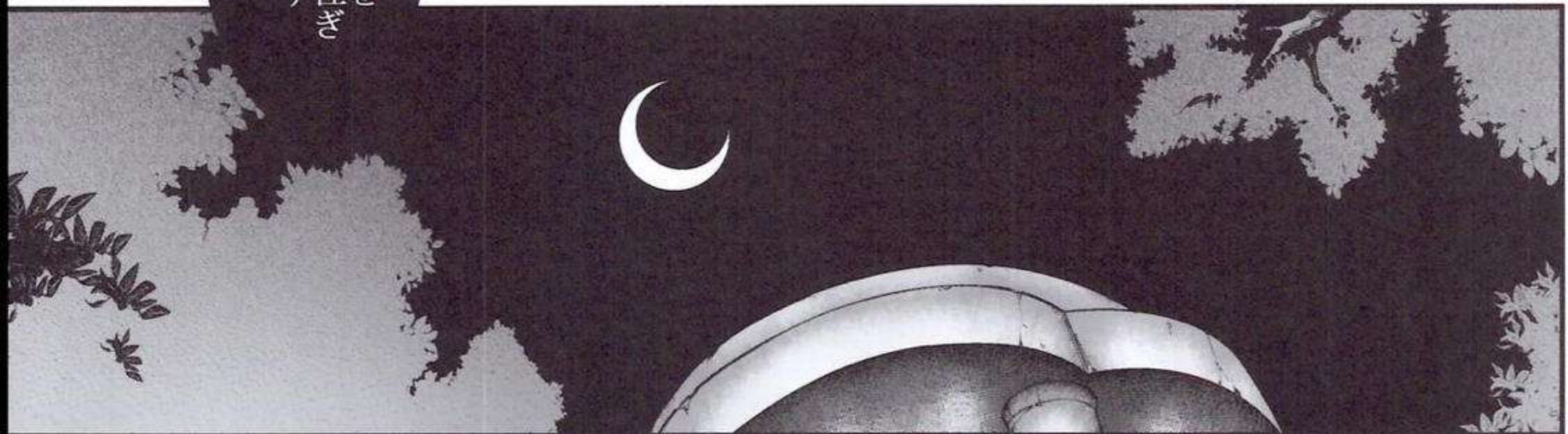




：脱<sup>リ</sup>出<sup>レ</sup>呪<sup>ミ</sup>文<sup>ト</sup>封<sup>ト</sup>じの  
畏<sup>レ</sup>が仕<sup>レ</sup>掛<sup>レ</sup>けてある  
はずなのに…

さすがは  
賢者さま…

全ての魔法力を  
あのコ1人に注ぎ  
それを押し通す  
だなんてね



貴重なご馳走を  
取り逃がしたのは  
惜しいけど…

…まあ良いわ

賢者…  
…ムコト…



—反応がない  
この扉は魔力を使い  
果たしたようだ…



快樂への恐怖…

後悔への確信も  
押し殺して

自分を犠牲にした  
貴女の覚悟…

勇者…様…

思う存分  
味わわせて  
貰うから…♪

使命を…

—のちに 世界中に散らばるオーブを揃えた勇者は  
蘇った不死鳥の背で空を駆け 見事に魔王を打ち倒した

分かつて  
るさ…

もつと  
強くなって…

必ず  
救ってみせる  
…!!

しかし勇者はその後 ギアガの大穴より地の底へ消え  
彼の消息はそこで途絶えている…

世界も

君も

一説には より強大な悪を討ちに行ったとも  
地の底に囚われた姫を助けるためとも言われているが  
真実は地の闇の中である—



女勇者はくじけない





## ビギラマ

淫魔力が込められた閃光呪文。快樂エネルギーそのものを熱線を受けた相手は性感神経を強烈に炙られ、絶頂に身を焼かれることだろう。

## ビホイミ

直接快樂エネルギーを送り込むビギラマとは異なり、相手の生命力を活性化させるホイミ系呪文の特性を利用して活性化するポイントを官能部分のみへと変換させた呪文。

より高威力なビホマという呪文もあるらしい。

## ビホマズン

膨大な淫魔力によって効果を増幅させたビホイミ系最強呪文。そのあまりの威力は対象者全員の官能を増幅し、なおも溢れる余剰魔力がHPすら回復させてしまう。

なお、淫らに活性化し続ける相手の身体は、いくらHPが回復したとしてもまともに動くことなど出来ず、待ち受けるのは更なる快樂地獄のみである。

## 女勇者

かつて勇者と呼ばれた父のあとを継ぎ、勇者として魔王討伐に旅立った少女。女賢者と出会うまでずっと一人で戦い抜いて来たからかLvは高く、すでに魔王と渡り合える域に達している。

中性的な見た目と性格は、幼少期より勇敢な男の子として育てられてきたため。本人にも女である自覚はあまりなく、周囲からも少年と思われているようだ。

そんな少年としての性格は女性としての知識を持たず、かといって少女の身体は、思春期の少年然とした性欲を持ちはしない…そのため性的な事柄には知識も興味も持つことなくここまでやって来た。

## 女賢者

世に蔓延りつつある魔王バラモスの影に気付き、その危機を祓いうる存在を求め世界を旅していたさなか、女勇者と出合った。

勇者様を支え、守護することが使命と自らに定めている。

彼女も一人旅のなか悟りの書を手にし賢者へと至った女性のため、かなりの強さ。「賢き者」である彼女だが、性的な事柄に関しては人並みの知識を持つ程度である。

- 発行日・2019/8/11
- 発行元・灯夜工房（灯ひでかず）
- 連絡先・tomosibi18@hotmail.co.jp
- 印刷・ねこのしっぽ様

18歳未満の購入・閲覧、及び無断転載は禁止  
なお、触手姦は犯罪です  
触手の生えた方、淫魔を召喚できる方  
間違ってもその力を人に向けないで下さい



PRESENTED BY

灯夜工房